

図画工作科 学習指導案

I 題 材 北軽井沢でごちそうパーティ（交流及び共同学習）

II 考 察

1 教材観

(1) 育成を目指す資質・能力の三つの柱

③学びに向かう力・人間性等

自分のつくりたいごちそうのイメージを基に粘土で形をつくり、友達とイメージを共有することを楽しむ態度

①知識及び技能

自分のつくりたいごちそうのイメージに合わせて、手や指、道具の使い方を工夫して、粘土の形を変化させて創造的に表す力

②思考力・判断力・表現力等

イメージに合った形のよさを感じ取ったり、自分のつくりたいごちそうの形や表し方について考える力

(2) 学習内容：学習指導要領上の位置付け

A表現

(1) 表現の活動を通して、発想や構想に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。

イ 絵や立体、工作に表す活動を通して、感じたこと、想像したことから、表したいことを見付けることや、好きな形や色を選んだり、いろいろな形や色を考えたりしながら、どのように表すかについて考えること。

(2) 表現の活動を通して、技能に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。

イ 絵や立体、工作に表す活動を通して、身近で扱いやすい材料や用具に十分に慣れるとともに、手や体全体の感覚などを働かせ、表したいことを基に表し方を工夫して表すこと。

(3) 本題材の学習とその価値

本題材は、特別支援学校の友達も交えて、友達と見立てたり見合ったりしながら、粘土を丸めたり切ったりして、自分のつくりたいごちそうをつくることを楽しむ学習である。その価値は以下のとおりである。

子どもたちは、つくったものやできた形を見立てながら遊ぶ活動が好きである。特に粘土は可塑性が高く、自分のつくりたいごちそうのイメージに合わせて、丸めたり切ったり、つまんだりしながら、手や指、道具の使い方を工夫して形をつくることができる。

また、子どもたちにとって、食べ物は具体的に思い浮かべやすいもともと身近な物である。形についても、食材の形や、複数の形を組み合わせることにより自分のつくりたい食べ物の特徴を捉えやすく、子どもたちにとって取り組みやすいものである。そのため、様々な食べ物の中から好きな食べ物について友達と話したり、つくる活動を見合ったりしながら、自分がつくりたいごちそうを思い付いたり、ごちそうの具体的な形を考えたりすることができる。

そして、自分や友達がつくったごちそうの中から、取り皿に取り分けてパーティごっこをする活動を通して、自然に遊びながら自分や友達がつくったごちそうの形や表し方のよさを見つけ、友達とイメージを共有する楽しさを味わうことができる。その際、特別支援学校の子ども達とも、身振りやごっこ遊びを通して言語以外のコミュニケーションを取りながら交流することができる。

さらに、附属小学校や特別支援学校の子どもたちが、他の題材でつくった森にあるものを展示した、「北軽井沢の森」という空間を設定することで、きれいな森の中でごちそうパーティーをするというイメージを具体的に共有しやすく、粘土でつくった物で遊びながら振り返る活動に向けての期待感をもつことができる。

また、学習材の価値は以下のとおりである。

粘土は、加工しやすく何度も形を変えてつくりすることができるため、例えば、球体を林檎に見立てていた子どもが、友達のつくっている姿を見て、表面に点を付けて苺にイメージを変えていくなど、イメージを更新しながら表し方を工夫してつくりすることができる。

また、手のひらで転がしながら丸めたり、指先を使って包んだりすることや、へらを包丁のように使って切ったり、棒を転がして伸ばしたりすることなど、実際の調理にも似た手順を想起しやすく、自然に道具を使ったり、食べ物をつくる際の工夫を友達と共有したりしやすい。

そして、油粘土は適度な柔らかさがあり、低学年の子どもたちや特別支援学校の子どもたちにとって、手で触れる際に心地よさがあり活動に取り組みやすい。

さらに、白色の油粘土を友達と共同で使うことで、自由に色のイメージを投影したり、つくったごちそうのイメージを友達と共有したりすることができる。

(4) 今後の学習

ここでの学習は、3年「切って つんで」において、粘土をへらや糸で自由に切った形からできそうなものを考えながら、接合したり積んだりして、立ち上がる形をつくることを楽しむ学習へと発展していく。

(5) 共通事項との関連 ※指導と評価の計画参照

2 児童の実態及び指導方針

子どもたちは、1年「ひもひもねんど」において、粘土で自分のつくりたいものを考えながら、粘土の変形や接合の仕方を試して、思い付いたものを自由につくることを楽しむ学習をしてきた。この学習の中で明らかになった子どもたちの実態及び本題材を進めるにあたっての指導方針は、次のとおりである。

- ① 友達と話しながら、粘土でつくりたいものを工夫してつくりすることができた。このような子どもたちが、友達とつくりたいごちそうや表し方について見合いながら工夫してつくれるよう、つくる場、ごちそうを並べる場、材料コーナーを楕円形に配置した場を設定する。
- ② 粘土の感触を楽しみながら、自分のつくりたいものに合った表し方を考えることができた。この

ような子どもたちが、つくりたいごちそうに合わせて表し方を考えることができるよう、粘土を丸めたり切ったりしながら、表し方を試す活動を設定する。

- ③ 友達作品について話したりつなげたりしながら、作品を見合ったりつくったりすることを楽しむことができた。このような子どもたちが、自分や友達のつくったごちそうの形のよさを見付けたり、ごちそうのイメージを共有したりすることを楽しむことができるよう、自分や友達のつくったごちそうの中から、取り皿に取り分けてパーティごっこをするという、遊びながら題材を振り返る活動を設定する。

Ⅲ 目標及び評価規準

Ⅳ 指導計画 ※Ⅲ・Ⅳについては、指導と評価の計画参照

Ⅴ 本時の学習

- 1 ねらい 友達と粘土で様々な形をつくる活動を通して、自分のつくりたいごちそうを思い付き、粘土を丸めたり切ったりして表し方を工夫して、ごちそうをつくることを楽しむ。
- 2 準備 白い油粘土 へら 紙皿 紙コップ 割り箸 テーブルクロス 電子黒板
- 3 展開

学習活動と子どもの意識	指導上の留意点
<p>1 本時の活動の見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・粘土を手のひらで押して平たく伸ばすとピザができそうだよ。僕はピザが大好きだからつくりたいな。 <p>2 自分のつくりたいごちそうをつくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なかなか円いピザの形にならないからどうしたらいいかな。友達は、始めにお団子をつくってから、手のひらで薄くのばしておせんべいをつくっていたな。僕も、大きなお団子をつくって、粘土板で押しつぶしたら大きな円いピザがつくれそうだよ。 ・粘土を横にごろごろ転がすとソーセージができるよ。友達にも教えてあげたいな。 <p>3 自分や友達のつくったごちそうを並べたり、取り分けたりして遊ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハンバーグは熱々でおいしいな。僕のつくったピザもみんな好きだって言ってたよ。 	<p>○自分のつくりたいごちそうを粘土で表すことができるよう、粘土で様々な形をつくった活動の様子を電子黒板で見ながら、できそうなことを問いかける。</p> <p>○自分のつくりたいごちそうのイメージに合わせて表し方を工夫することができるよう、つくりたいものに合わせて表し方を変えながらつくっている子どもを賞賛する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">評価項目</p> <p style="text-align: center;">つくりたいごちそうに合わせて、手や指道具の使い方を変えている。</p> <p style="text-align: right;"><作品・行動①></p> </div> <p>○題材を振り返ることができるよう、つくったごちそうを大皿に並べたり、取り皿に取り分けたりしながら、テーブルクロスを好きな場所に敷いてパーティごっこをする時間を確保する。</p>

指導と評価の計画（全2時間）

題材	北軽井沢でごちそうパーティ		
目標	いろいろなごちそうの形を思い浮かべ、粘土での表し方を工夫しながら表すことを楽しむ。		
評価 規準	(①知識・技能)分のつくりたいごちそうに合わせて、手で丸めたり道具を使って切ったりして、表し方を工夫することができる。 (②思考力・判断力・表現力等)くりたいごちそうの形を思い付いたり、ごちそうを選んだりすることができる。 (③主体的に学習に取り組む態度)分や友達作品や表し方のよさを見付けたり、粘土でごちそうをつくることや、みんなでパーティーをすることを楽しもうとしたりしている。		
過程	時間	学習活動	指導上の留意点
であ う	2	○粘土を自由に触り、様々なつくり方を試す。	○様々なごちそうを思い付くことができるよう、粘土を丸めたり、切ったりしながら、表し方を試す活動を設定する。
ひろ げる ・ あら わす		○自分のつくりたいごちそうをつくる。	○友達とつくりたいごちそうに合わせた表し方について見合いながらつくれるよう、つくる場、ごちそうを並べる場、材料コーナーを楕円形に配置した場を設定する。
ふり か え る		○自分や友達がつくったごちそうを並べたり、取り分けたりして遊ぶ。 (本時2/2)	○自分や友達がつくったごちそうのよさを見付け、ごちそうのイメージを共有することができるよう、自分や友達がつくったごちそうの中から、自分の気に入ったごちそうを取り皿に取り分けてパーティごっこ遊びをする活動を設定する。
共通 事項	ア 粘土を触った感じを楽しみながら、ごちそうをつくったり見たりする活動を通して、形の面白さに気付く。 イ 自分や友達がつくった作品の形を基に、自分なりのごちそうのイメージをもつ。		
			◇様々な表し方を試しながら、自分のつくりたいごちそうについて発言したり、形を見立てたりしている。 <作品・行動・発言②>
			◇つくりたいごちそうに合わせて、手や指、道具の使い方を変えている。 <作品・行動①>
			◇自分の気に入ったごちそうを選んだり、自分や友達のごちそうのよさについて発言したりして、ごちそうのイメージに合った遊びをしている。 <作品・行動・発言③>